

心理的安全性研修

対象者：管理・監督者

1. 研修のねらい

自治体戦略 2040 年構想において総務省の掲げる「行政サービス供給体制を維持できるスマート自治」を構築するためには、管理者が職場の心理的安全性を基にしたイノベーションやパフォーマンス向上を図れるような環境づくり欠かせません。本研修を通じて、心理的安全性の必要性とその手法を理解し実務へ展開できるようになることを研修の狙いとしています。

2. 研修のポイント

- ・知識：心理的安全性が必要とされる背景とその内容を理論と実例から理解する
- ・技能：実践に必要な技能「印象管理、承認と称賛、傾聴」を実演やワークを通じて理解する
- ・交流：ワークを通じた他職員と情報交流、経験交流することで、実務への転用を図る

3. 研修の独自性

研修を担当する中村英泰は、青山学院大学のワークショップデザイナーを履修していると共に、職場の心理的安全性やエンゲージを高めるためのノウハウ本「社員がやる気をなくす瞬間」(2022 年 12 月 27 日出版)の著者でもあり、心理的安全性の構築を専門領域としています。そうした中村が展開するワークショップは他の公的機関向け研修でも好評を頂いています。

4. 研修内容

	内 容
3 時間	1. オリエンテーション 1) 職場に心理的安全性が必要とされる理由 2) 心理的安全性とは?(イノベーションとの関係)
	2. 心理的安全性の実践 1) 管理者として行うべきこと 2) エンゲージメントの向上とその方法(印象管理、承認と称賛、傾聴) 3) 目標達成に向けたモチベーションの向上
	3. 明日からの取り組み 1) 本日の振り返り 2) 明日から取り組むこと
	閉講

※ 全項目講義及びワークを交えた形式です。